

外郭団体特別委員会審査から②

神戸市議会外郭団体に関する特別委員会の審査が8月27日と9月2日に開かれ、日本共産党神戸市会議員団の味口としゆき議員、今井まさこ議員が外郭団体の運営状況などについて質問しました。

8月27日 交通局

神戸交通振興株式会社

バスは市民の足

安全が担保できるよう
職員の処遇改善を

——— 味口としゆき議員

神戸交通振興株式会社は、神戸市交通局からバスの運營業務を委託されています。味口議員は「バス運転士不足が問題となっている。市民の安全にもつながる問題だけに、安い委託費がネックになり、バス運転士にしわ寄せがあるようでは本当に困る」と強く訴え、交通局職員と比べてもあまりにも処遇が悪い交通振興のバス運転士や駅務社員の処遇改善を求めました。

答弁ダイジェスト

代表取締役専務：年間給与を市の運転手と比べると低いが、民間他社と比べてもさほど見劣りするものではない。

味口議員：(交通振興には) 扶養手当や住宅手当の制度自体がない。賞与月数についても、4.5か月出ている交通局職員に比べて、ほぼ1か月しかもらえない駅務社員が大半だ。

代表取締役専務：市職員と同等にするのであれば、委託に出すメリットがない。

味口議員：運送業界の運転手不足の問題は全国的に見ても明確だ。「民間他者と比べて悪くない」という認識でいいのか。安さだけを競わせると安全性の面で不安が出てくると思うがいかがか。

岸田交通局長：処遇改善は会社でして



いただいたらいい。私どもは委託料を払うだけ。

味口議員：冷たく実情に合わない答弁だ。市全体の交通事業を安全担保しながら運営していくために、処遇改善を含めて総合的に考えていただきたい。

その他の質問

- 駅・駅ビルテナントへの支援について

8月27日 文化スポーツ局

公益財団法人 神戸市民文化振興財団

芸術は必要不可欠

後世に技術をつなげるために
市として守れ!

——— 今井まさこ議員

公益財団法人神戸市民文化振興財団は、市民の幅広い多様な文化的欲求に対応し神戸文化を育て、自由な発想に基づく文化活動の豊かな展開を進めていくことを目的として、質の高い芸術を鑑賞できる機会を提供する文化振興事業や、文化ホールの貸館・管理事業などをおこなっています。今井議員は、コロナの影響を受けた舞台や演劇のスタッフの方々への支援について質しました。

答弁ダイジェスト

今井議員：(コロナ感染対策のために) 観客を半分にすれば収入も半分になる。演奏者や俳優の方々だけでなく、芸術をつないでいくという意味でも、舞台を支えている音響や照明などの方々への支援も必要だ。

専務理事：舞台芸術の方も活躍できる場を少しずつ進めている。

宮道文化スポーツ局副局長：ホール代を半分にし、アーティストを含めて舞台を支える方々を守れないだろうかということで、50%を県・市で支援させていただいている。

今井議員：例えば、無観客での舞台を有料でライブ発信する技術を財団が援助をおこない、観客が演劇や舞台に戻ってこようという機運が高まるように職員の

公益財団法人 神戸市スポーツ協会

子どもたちの健康のための運営と対策を

——— 今井まさこ議員

公益財団法人神戸市スポーツ協会は、神戸市におけるスポーツの普及や競技力の向上をはかるとともに、教育・健康増進に関する事業をおこなっています。今井議員は、「新型コロナウイルス感染症の影響が長引くなかで、子どもたちの体力



方の知恵を出しあい、もっと支援策を強めていただきたい。

その他の質問

- 貸館の運営について

の低下が懸念されている」と訴え、子どもたちの健康を守るためにスポーツ協会としての運営や方向性について質しました。

答弁ダイジェスト

常務理事：子どもの体力については、私どもも非常に重視している。秋から順次スポ協通信を通じてイベントを開催するので、参加していただきたい。

今井議員：教育委員会も考えるが、スポーツ協会としても、子どもたちの健康づくりのために長期的に考えていただきたい。

王子スポーツセンター エアコン設置へ

—— 味口としゆき議員

2018年の西日本豪雨で灘区篠原台は甚大な土砂災害の被害に遭いました。その際に避難所となった王子スポーツセンターは、公益財団法人神戸市スポーツ協会

が運営をおこなっています。当時、王子スポーツセンターはスポットクーラーしかなく、避難者から悲鳴があがっていました。味口議員は、体育館の空調設備設置の進捗状況と、避難時の駐車料金について質しました。

答弁ダイジェスト

平野文化スポーツ局副局長：エアコン設置工事は今月（8月）で終わる予定。

味口議員：9月から10月は、台風の懸念もあるので、それまでに使えるようにお願いしたい。また、車で避難される方の駐車料金も問題だ。当時は特例で避難する方の駐車料金を返却する措置を取ったが、王子スポーツセンター駐車場の駐車料金はどうなっているのか。

常務理事：災害の程度などを踏まえ、駐車料金については柔軟に対応したい。

8月27日 福祉局

公益財団法人 こうべ市民福祉振興協会

コロナ禍でも高齢者が 利用できるような運営を

—— 今井まさこ議員

こうべ市民福祉振興協会は、高齢者の自立や社会参加を促進するための事業をおこなっており、シルバーカレッジや健康いきいき教室、高齢者スポーツ教室な

どを開催し、昨年は約4000人もの方々が参加されました。今井議員は、コロナ禍で外出を控えている高齢者のみなさんのために、感染予防策や今後の運営の見直しなどについて質しました。

答弁ダイジェスト

常務理事：（シルバーカレッジや教室などの）営業再開はしているが、6割から7割減になっている。今までやってきたものを継続するために、みなさんが安

心していただけるよう感染対策を徹底し、個別のお知らせや広報も充実していきたいと考えている。

今井議員：パソコンを触っている方も多い。オンライン授業にもチャレンジし、高齢者の方々が社会的に孤立することのないように頑張っていたきたい。

常務理事：民間ではオンラインでされている例もあるので、前向きに考えていきたい。

9月2日 都市局

一般財団法人 神戸すまいまちづくり公社

高すぎる再開発ビルの 家賃の調査を約束

—— 味口としゆき議員

一般財団法人神戸すまいまちづくり公社は、賃貸住宅運営事業や再開発ビルの建物の管理・保全、テナント誘致、外資

系企業の誘致などの事業をおこなっています。味口議員は、再開発ビルのテナントの家賃や共益費について質しました。

答弁ダイジェスト

味口議員：コロナの影響で商売をされている方は、家賃とともに共益費も非常に苦勞をされている。要望を聞いて寄りそう必要があるのではないかと。

専務理事：市とも調整しながら家賃の

減免はさせていただいた。国でも家賃の支援制度がある。その申請書の証明発行という形で側面的な支援をしていきたい。

味口議員：再開発ビルのテナントの家賃自体がもと

もと高く、継続した支援が必要だ。地元企業の育成する、中小企業を支援するという観点で見直すべきだ。

手塚都市局担当局長：共益費が非常に高いという意見は聞いている。どんな状況にあるのかということも含め、調査を試みたいと思う。

味口議員：個性豊かな神戸らしい店が、地元で根差して頑張っている。しっかり調査し、支援していただきたい。

その他の質問

- 三宮再開発事業支援について
- 神戸インキュベーションオフィスの運営について
- 摩耶ビューラインについて
- 味口としゆき議員
- 公社住宅に住む若者への支援策について
- 北鈴蘭台・桜の宮住宅再整備について
- 今井まさこ議員

20年度9月議会・決算特別委員会日程と共産党議員の質問予定

	月	日	曜日	審査 順位	質問予定 時間	分科会	担当議員
会計室・市長室・ 行財政局・選挙管理委員会・ 人事委員会・監査委員会	9	30	水	4	13:40	1	大かわら鈴子
建設局	9	30	水	5	14:05	2	森本 真 松本 のり子
企画調整局	10	1	木	3	12:35	1	大かわら鈴子
文化スポーツ局	10	1	木	6	15:00	3	今井 まさこ
健康局	10	2	金	4	13:40	2	森本 真
港湾局	10	2	金	5	14:05	3	西 ただす
建築住宅局	10	5	月	2	10:50	1	林 まさひと
水道局	10	5	月	3	12:35	2	松本 のり子 山本じゅんじ
都市局	10	6	火	1	10:10	1	林 まさひと
経済観光局	10	6	火	4	13:40	3	味口としゆき
福祉局	10	7	水	2	10:50	2	松本 のり子
教育委員会	10	7	水	3	12:35	3	味口としゆき
交通局	10	8	木	6	15:00	1	朝倉 えつ子
環境局	10	8	木	1	10:10	2	山本じゅんじ
危機管理室・消防局	10	9	金	6	15:00	2	森本 真
こども家庭局	10	9	金	2	10:50	3	今井 まさこ
総括質疑	10	14	水	4	13:30	—	西 ただす

神戸市のホームページからもご覧いただけます

味口としゆき議員 今井まさこ議員が 代表質疑

日時 9月29日(火)
10時頃から

場所 市議会本会議場

時間が前後する場合がありますので、余裕をもってご覧ください

本会議および委員会のインターネット中継をおこなっていますので、ぜひご利用ください

新型コロナウイルスの屋内感染防止のため、本会議および委員会の傍聴をご希望される方は、手洗い・アルコール消毒・マスクの着用、ならびに座席の間隔を空け、身体的距離を確保してお座りいただくようご協力をお願いいたします。

新型コロナ
ウイルス
感染症対策

福祉・医療・教育現場
ハイリスク施設にPCR検査の
抜本的拡充で感染拡大の防止を

9月18日に神戸市会本会議がひらかれ、日本共産党神戸市議団を代表して森本真議員が議案質疑をおこないました。

質疑項目

1. 医療・検査・保健体制の拡充で感染拡大を防止することについて
2. 苦しんでいる事業者への支援について
3. 学びの保障と感染対策を一体で進める少人数学級について

特養入居者へのPCR検査拡充
高齢者のインフル予防接種無料化

『検討する』と確約

神戸市は、第1波の経験を活かして、中央市民病院のコロナ専門臨時病棟の整備や軽症者宿泊療養施設の設置、健康観察者への積極的なPCR検査の拡大など、我が会派が要望してきた内容も取り入れて、感染拡大を防止する施策を実施してきました。

今回の補正予算案では、「検査体制の強化および医療体制の安定的確保」として、分娩前のPCR検査の実施などが計上されています。新型コロナウイルス感染の特徴とし

て、無症状者が感染を広めています。感染リスクが高く多くのクラスターを発生させている高齢者施設、医療機関、学校や幼稚園、保育所、夜の街、飲食店などについては、感染者が発生してから検査するのではなく、無症状の陽性者を早期に発見し、初期の段階から感染を抑え込むことが重要です。森本議員は、社会的目的でハイリスクな施設に対して積極的にPCR検査を実施するよう求めました。

コロナ倒産防げ
市の責任でさらなる支援拡充を

神戸市は、新型コロナウイルス感染症対策として、6月補正予算で編成した「中小企業チャレンジ支援補助金」「中小法人等の店舗家賃負担軽減補助金」に25億円の予算を組みましたが、見込みの4倍近い申し込みがあり、59億

円の追加補正を決めました。これは、神戸市が想定した以上に、市内の多くの事業者がコロナで窮地に陥っていることを証明しています。しかし現在、神戸市をはじめ国・県などの支援策もなくなりつつあり、多くの事業者は先行き

森本議員が
議案質疑



答弁
ダイジェスト

恩田副市長：まずは特別養護老人ホーム、特に要介護度の高い人が多い施設において新規入所者、直接介護にあたる職員に対してPCR検査を実施するよう考えている。

森本議員：8月の新型コロナウイルス感染対策本部で「一定の高齢者や基礎疾患を有する者について地区町村において本人の希望により検査をおこなう場合に国が支援する仕組みを設ける」と決定された。高齢者は特養や要介護の方だけではない。この立場で検査拡大をすべきだ。

恩田副市長：助成については今後検討していく。

森本議員：助成ではなく、

国の支援なのだから無料で実施すべきだ。

久元市長：今後決定する国の動向を注視して市として対応していく。

森本議員：早期発見のためにも社会的目的で検査し、(感染を)最小限に抑えるという立場で検査の拡大にのぞんでいただきたい。また、コロナと症状の似たインフルエンザワクチンの高齢者の無料接種が全国に広がっている。神戸市は生活保護者と市民税非課税者だけだ。無料で実施すべきだ。

恩田副市長：十分に検討する。

森本議員：しっかり検討し、補正予算に計上していただきたい。

不透明なコロナ禍で苦しんでおり、倒産・廃業も広がっています。森本議員は、これ以上の倒産・廃業を出さないた

めにも、さらなる調査と支援策を講じるべきと質しました。

答弁
ダイジェスト

森本議員：神戸の様々な事業者のおかれている状況を把握しているのか。神戸の経済状況は、経済観光局が発行している「神戸経済の現状」がひとつの目安の数値だと思う。毎月倒産と失業率が

報告されているが、3月からは発行されていない。コロナの特集を組み、市の支援策や現状を報告するべきではないか。

久元市長：把握していないわけではないが、(森本)議員 (2面につづく)

のご指摘も踏まえて調査分析をおこない、それに応じた対応をしていきたい。

森本議員：50団体の調査では不十分だ。9月末になると施策がほとんどなくなり、事

業が継続できるか不安で困っている中小業者が多い。倒産件数も把握できていないようでは、経済政策に力が入っていないと言わざるを得ない。

今西副市長：広報は必要か

と思うので、何らかの形で公表していく。

森本議員：広報だけが大事ではない。今は中小業者の方々がどのような支援を求めているのかが重要だ。そのた

めには団体に頼らず市が自ら発信し、多くの中小業者の声を聞くべきだ。

久元市長：様々な観点で市内の経済を把握し、さらなる改善につとめたい。

少人数学級実施は急務

こどもたちの学び、心身のケア、安全を保障するために

コロナ禍のなか、長期の休校でつらい思いをさせた子どもたちは、夏休みも短縮され、暑く、密状態の教室で学んでいます。いま、子どもたちには、学び、心のケア、安全を保障する必要がありま

す。今回の補正では、長期の休校で遅れた学習を補うとして少人数指導のための教員の加配配置の補正予算が計上されていますが、小6・中3の最終学年だけだとされています。森本議員は、少人数学級

の実施は、ソーシャルディスタンスを保ち、感染リスクを抑えるだけでなく、個々の児童・生徒に対して状況に応じ

て指導が期待されていることから、今後さらに拡大するよう求めました。

答弁

長田教育長：国の第二次補正予算に計上された教員の加配を活用し、順次実施している。この度の補正予算において加配教員の追加配置に要する予算を計上し、国の趣旨に基づき最終学年の少人数指導に活用している。引き続き追加配置

につとめたい。しかし、少人数学級編成を実施していく場合、人員や教室の確保等にかかる財政負担や物理的制約など多くの課題があるので、まず35人学級編成の対象学年の拡大を念頭において引き続き国に要望していく。

破綻した「新自由主義」「自己責任」に固執する久元市政 神戸市が「行財政改革方針2025」を発表

新型コロナウイルス感染症の世界的大流行は、すべてを市場原理に委ねる「新自由主義」によって生み出された社会の脆弱さを明るみに出しました。7年8か月にもおよぶ安倍政権によって、国は年金・医療・介護などあらゆる社会保障を切り捨て、国民には「自己責任」が押し付けられてきました。神戸市でも、市民生活の基盤を支えてきた公的サービスは、「行政コストの削減」「受益者負担」の掛け声のもと、「事務事業の見直し」によって、職員削減や統廃合、民間委託による「安く、代わりの利く労働力」におきかえられてきました。

感染防止の最前線で対応すべき保健所は、9行政区から神戸市一か所に統廃合、公衆衛生医師は統合前の三分之一に減らされ、保健師の人数は、政令指定都市中、人口比最下位まで押し下げられ現場は疲弊しています。

家庭に困難を抱えた子どもたちを保護する児童相談所では、「民間にできるものは民間に」と、夜間窓口の対応が無資格のボランティアに置き換えられ、夜間に駆けこんできた子どもを追い返す事件が occurred しました。

震災以降、全国平均の2倍以上、36%もの職員削減により、過労死ラインを超える長時間労働により、心を病む職員が増え、昨年は、不祥事対応に追われた教育委員会の事務職員が自死する事態となっています。

新型コロナの危機を通じて、『効率』や『自己責任』ではなく、ケアに手厚く危機にもゆとりをもって対応できる神戸であってほしい』と多くのみなさんが感じてらっしゃるのではないのでしょうか？

「自助・共助」をおしつける国に 追随する神戸市

ところが、菅総理は「自助、共助、公助」と「自己責任」を強調。「公助」となるべき年金・医療・介護などの社会保障制度を徹底して改悪・破壊しておきながら、国民には「自助・共助」で「まず自分でできることは自分で」と、「新自由主義」と「自己責任」を押し付けてきた安倍政権の「継承」に固執しています。

久元市長は、こうした国の路線に追随するように、神戸市「行財政改革方針2025」を発表しました。

コロナ危機で疲弊する職員 ——5年でさらに750人も削減

「行財政改革方針」では5年間で、292億円もの福祉・市民サービスを切り捨て、コロナ危機のもとで休む間もなく働いている実態を無視して750人（一般行政職の約1割）もの職員削減を強行しようとしています。

久元市長は、テクノロジーの「実験都市」を掲げて、「事務作業はすべてAI・ロボットに任せ」「今の職員の半

数で業務を遂行する」とする国の自治体戦略2040構想の実験台に、神戸を差し出そうとしています。

政府肝いりの三宮再開発は 「聖域」扱い

市長は「聖域なく見直しやめる勇気をもって選択する」としておきながら、三宮再開発などの大型開発については「コロナの恐れがあるからと言って立ちすくんではいけない」と「聖域化」して是が非でも進めると宣言しました。

菅総理の消費税増税発言に エールを送る久元市長

コロナ危機と消費税10%増税で地域経済、市民生活が窮地に陥っている時に、「消費税は引き上げざるをえない」との菅総理の発言に批判の声が起こっています。そうしたなか久元市長はツイッターで「菅義偉官房長官（当時）が消費税率の引き上げに触れられたのは、勇気ある発言だ」とエールをおくりました。

久元市長は、「行財政改革方針」で「将来のために」と、徹底した削減計画を、住民と職員に押し付けておきながら、未来に待っているのは「増税」しかないと表明しているのです。いったい何のための「改革」でしょうか？

そんな無策を語る市長に、神戸のかじ取りを任すわけにはいきません。

市長の「やめる勇気」は市民・福祉サービス切り捨て 三宮再開発“聖域”の姿勢改めよ

9月29日、神戸市会本会議で日本共産党神戸市議団の味口としゆき議員と今井まさこ議員が登壇し代表質疑をおこないました。

質疑項目

1. 「行財政改革方針2025(案)」について
2. 新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ神戸の経済政策を転換することについて
3. 少人数学級の実現、学校の施設整備について

味口議員が 代表質疑



神戸市は来年度から今後5年間の行財政改革を推進するとして、750人の職員削減をはじめとする292億円もの事務事業の削減をすすめ、市民の福祉やサービスを切り捨てようとしています。味口議員は「新型コロナウイルス感染症を通して、医療や公衆衛生

をはじめ、介護・障害福祉・保育・雇用・経済・教育など、あらゆる分野で、行政の脆弱性が明らかになった」と言及し、市民に必要な事業の廃止や縮小、人員削減ありきの行財政改革はやめるよう質しました。

188億円もの削減を検討するという驚くべき内容が書かれていた。これが市長の姿勢なのか。

今西副市長：福祉だけでなく見直しの提案は常々おこなっている。議論の中で最適なものをつくりあげていく。

味口議員：昨年のこども家庭センターの児童追い返し問題は、コスト削減の目的でボランティア任せにしたことが背景にある。さらに現在は東

京のコールセンターで相談を受けている。東京で神戸の子どもたちの叫びがわかるのか。これが最適といえるのか。

恩田副市長：しっかり検証し来年度予算に向けて検討する。

味口議員：後で検討するのでは子どもの命は救えない。292億円というコストありきの福祉・市民サービスの切り捨てをすすめる危うい行財政改革はやめるべきだ。

答弁 ダイジェスト

味口議員：わが党が独自ルートで入手した事務連絡

文書には、福祉局だけで、高齢福祉・障害福祉・生活困窮分野をはじめとする26事業、

行き詰まった再整備やめ、急場にふさわしい市内中小事業者のための予算を

新型コロナウイルス感染症を通して、市内の中小業者や飲食店は、経営の危機にさらされています。店舗家賃補助金やチャレンジ支援補助金は6月で終了し、市の独自支援

策はありません。味口議員は、神戸市が推進する「三宮再開発」はコロナ禍で行き詰まっていることを指摘し、コロナ禍で苦しむ地元中小企業の直接支援の継続を求めました。

答弁 ダイジェスト

味口議員：コロナ禍で事業継続が危ぶまれる事業者

から「震災の時のように戻るかと思っていたが、震災の時よりもキツイ」という悲痛な声を聞いている。

久元市長：飲食店が非常に厳しい状況におかれているというのは事実。しかし、目の前

のコロナのことだけで三宮再開発をはじめ、ウォーターフロント再開発や湾岸線の延伸など、神戸の発展を阻害されることがあってはならない。再整備事業は予定通り着実にすすめていくことが必要だ。

味口議員：予算の使い道に限りがあると292億円もの市民サービスの切り捨てをおこ

なう一方で、三宮再整備を「聖域」とし、57億円もの巨額を投資することは許されない。今苦しんでいる市民を救

うために、一旦中止してでもコロナで変化した様相に合わせた中小企業への支援のための予算組み替えが必要だ。

「少人数学級」実現は 市長公約!!

今こそ市長の決断でコロナ禍の教育整備を

新型コロナウイルス感染症に伴う長期間の休校で、子どもたちのストレス、授業時数の取り戻し、熱中症対策など、子どもたちへの影響や教職員の多忙と疲労が蓄積されています。子どもたちへの手厚い教育の実現と感染拡大防止の上でも、少人数学級の実現は急務となっています。味口議員が、密状態になってい

る市内の小学校の授業風景の写真を提示すると、久元市長は「1mの間隔はとれていない」と答えました。さらに味口議員は「国に必要な予算を求めるとともに、学校施設整備と教員の加配に必要な予算をつけることが、withコロナ時代に求められることだ」と、市長の政治決断を求めました。(2面につづく)

答弁 ダイジ エスト

長田教育長：市独自で実行するには多額の財政負担や課題が生じるため、極めて困難。本来は国の責任のもとでなされるものであり、国に要望していく。

味口議員：困難で済まされる問題ではない。小学校内で

クラスターが発生した際の健康局の会見で「三密はなかった」と断言したが、実際は密になりやすい環境でクラスターが発生している。

久元市長：文科省の指針を踏まえて換気をすることで三密の回避ができると思う。

味口議員：今の学校の現場

を見れば、窓を開けているから三密が回避できているとは言えない。それが今回のクラスター発生の問題で示されたのではないか。久元市長は1期目の市長公約で少人数学級の実施を掲げていたが、公約はどうなったのか。

久元市長：公約には子ども医療費無償化など、できていな

いものもある。すぐに実現するのは一自治体の力では難しい。

味口議員：7年間「やめる勇氣」は一貫していると、福祉や市民サービスの切り捨てをおこないながら、1期目の公約を国まかせにしているようでは、市民には通用しない。今市長の決断で実現させるべきだ。

文化芸術の灯を絶やさぬよう 市が責任もって隙間ない支援を

質疑 項目

1. 新型コロナウイルス感染拡大で困窮する市民への支援

- (1) 神戸の文化芸術活動をしている事業者や個人へ支援すること
- (2) 敬老・福祉パスへの改悪を中止し、制度を維持すること

新型コロナウイルスの感染拡大により、あらゆる文化芸術活動に支障が出ています。大学の研究室がおこなった文化芸術活動に関するアンケート調査では、減収が7割、さらに収入損失積算額の概算は兵庫県内で年間590億円が見

込まれるとなっています。今井議員は「市民の心に潤いやエネルギーを与え、明日への活力を生み出してくれる文化芸術活動をしている事業者への支援が不十分だ」と強く訴え、さらなる支援の強化を求めました。

答弁 ダイジ エスト

今井議員：現在の支援だけでは、神戸で活動する方々に行き渡っていない。国会討論でも勤務形態が多様なため、補正での支援では不

十分だと認めている。そのため、他の自治体ではその隙間を埋める支援策を打ち出している。神戸市も踏み込んだ支援が求められると思うがいかがか。



今井議員が代表質疑

恩田副市長：神戸市では、ふるさと納税も活用し、さらにアーティスト支援の第二次募集を実施している。様々な方々へは、国・県・市で実施している支援を活用していただきたい。

今井議員：収入がなくなったのに、(支援の条件に)当てはまらず支援が受けられないという文化芸術関係者の話を聞いた。神戸の文化芸術を支

える全ての方々に手を差し伸べるための様々な支援が必要だ。

恩田副市長：引き続きアーティストの方々からのご意見に耳を傾けて検討したい。

今井議員：巨額の税金を投入する文化ホールの建設は誰も求めていない。神戸の文化芸術をまもってほしいという声を受け止め、事態に見合った支援をすることが必要だ。

福祉パス 敬老パス

パス取り上げに涙

苦しい市民の声聞き改悪撤回を

神戸市は10月から、母子世帯と低所得者の高齢者に支給されていた「福祉乗車証」と「敬老無料乗車券」を廃止します。今井議員は、シングルマザーと女性の高齢者の方の声を紹介し、「コロナ禍で苦

しんでいる市民がさらに厳しい生活を強いられる。多くの自治体では低所得世帯への支援を強めているのに、神戸市は社会の流れと逆行している」と指摘し、改悪の撤回を求めました。

答弁 ダイジ エスト

恩田副市長：制度改正は議会で決定した。

今井議員：この決定はコロナ以前のことだ。(制度改正で)約7000世帯の母子世帯が福祉パス返還となる。コロナ

感染拡大で、非正規で働くシングルマザーや高齢者が困難な状況にある。母子世帯を一層貧困に追い込むことになるという認識はないのか。

恩田副市長：ひとり親世帯には、生活支援につながる相

談事業を実施している。

今井議員：パスがなくなれば、「生活が苦しくなる」「悔しい」という多くの怒りや悲しみの声を聞いている。パスの取り上げを求められた方々からの声は届いていないのか。

久元市長：ひとり親世帯が非常に厳しい状況に置かれて

いるのは承知している。国に対しても支援を要請し、状況に見合った対策を検討する。

今井議員：今回のパスの取り上げは、シングルマザーや非正規で解雇されやすい高齢者を追い詰めている。しっかりと声を聞き実態を見て、制度継続と改悪の撤回を求める。

ぜひご視聴ください

西ただす議員が総括質疑

日時 10月14日(水) 13時30分頃から

場所 市議会本会議場

時間が前後する場合がありますので、余裕をもってご覧ください

本会議および委員会のインターネット中継をおこなっていますので、ぜひご利用ください

新型コロナウイルスの屋内感染防止のため、本会議および委員会の傍聴をご希望される方は、手洗い・アルコール消毒・マスクの着用、ならびに座席の間隔を空け、身体的距離を確保してお座りいただくようご協力をお願いいたします。

9月30日

コロナ禍で暮らしが大変な
時に福祉の切り捨てやめよ
行財政局審査で大かわら議員



質問する大かわら鈴子議員

神戸市は行財政改革2020と称して、敬老祝い金の廃止、高齢者配食サービスの廃止、高齢者・障害者施設の民営化など、5年間で258項目95億円もの事業を

近年、豪雨災害の被害が多発しています。神戸市も国や県と一緒にレッドゾーン・土砂災害特別区域を指定し、移転支援や改修支援制度をつくりましたが活用がしにくく、利用実績はありません。また、崩壊したがけや危険な擁壁に対して上限100万円の助成事業も新設しましたが、この事業は応急的な対策に対しての助成制度となります。危険な擁壁は近隣の住民にも不安を広げています。森本議員が「自然災害の被害の未然防止のため、建設局は公共施設で保守点検をおこなっている。民有地においても、崩れない為の予防に対する助成制度をつくるべきだ」と質すと、建設局は「恒久的な対策は私有財産の形成になるので出来ない」という阪神・淡路大震災当時の国と同じ、時代遅れの答弁に終始しました。

決算特別委員会審査から

1. 行財政改革方針2025について
2. 職員削減について
3. 事務事業の見直しについて

質疑項目

削減しました。またあんしんすこやかルームの廃止や、この10月からは敬老パスの無料券・母子福祉パスの廃止を強行し、この度の行財政改革方針2025では、今後5年間で292億円もの事務事業を見直し、市民・福祉サービスを切り捨てようとしています。大かわら議員は「今、市民はコロナ禍のもとで暮らしが大変になっている。追い打ちをかけるような事務事業の見直しはやめるべき」と迫りました。

また、5年で職員750人もの削減目標を掲げている方針に対しても「この冬以降インフルエンザとの同時流行が懸念されている状況を考えれば職員体制の強化

こそおこなうべき」と質しました。

答弁ダイジェスト

岩崎副局長：見直した部分を財源として、子育て、教育、高齢者、障害者等の今後必要になってくる施策に充てていく。

大かわら議員：市民のための施策を実施するために市民の側の事業を削って財源をつくるというのはおかしい。子どもも高齢者も大変な思いをしている。その中でも三宮再整備など大型プロジェクトは聖域となって温存されている。これでは市民は納得できない。

9月30日

いのちと財産を守る
防災対策をすすめよ！
建設局審査で森本議員

質疑項目

1. レッドゾーンの支援強化について
2. 豪雨災害の事前防止策の強化について
3. 民有地の支援策強化を

答弁ダイジェスト

森本議員：他都市では災害が起こる前の減災対策の助成がある。横浜市や大分市でも制度を拡充し、金沢市では上限を求めない予防補助事業もできている。神戸市としてできないのか。

新見防災担当部長：他都市のことは承知をしている。恒久的な防災対策は私有財産の形成という事になり、公金の投入は慎重に考える必要がある。

森本議員：25年前の国の答弁と一緒に。私有財産に公的支援をと市民の声で、神戸市も行政も動いて、被災者再建支援法



質問する森本真議員

ができた。困っている人に手を差し延べるべきだ。

その他の質問

コロナ禍での下水道料金の値上げについて
—— 松本のり子議員

ぜひご視聴ください

山本じゅんじ議員が一般質問

日時 10月28日(水) 13時50分頃から 場所 市議会本会議場

本会議および委員会のインターネット中継をおこなっていますので、ぜひご利用ください

新型コロナウイルスの屋内感染防止のため、本会議および委員会の傍聴をご希望される方は、手洗い・アルコール消毒・マスクの着用、ならびに座席の間隔を空け、身体的距離を確保してお座りいただくようご協力をお願いいたします。

時間が前後する可能性がありますので、余裕をもってご覧ください

10月1日

跡地の活用も含め 利用者の声反映させた 図書館・体育館に 文化スポーツ局審査で今井議員



質問する今井まさこ議員

神戸市は、現在レバンテの1階にある図書館を移転する計画をしています。今

神戸市は、新港の1突基部での巨大開発に続き、第3・4突堤間の埋め立てと、第2突堤の開発をすすめています。これらはインバウンドを目的とした開発で、三宮地域と一体的にすすめていくとしています。現在、新型コロナウイルスの影響のもと、クルーズ船の入港はとまり、海外からの観光客は激減しています。西議員は、コロナ禍で状況は大きく変化したと指摘し、インバウンドに偏重した経済対策や開発優先の見直しを求めました。

答弁ダイジェスト

西議員：本会議でも大阪万博に乗り遅れないよう予算を使うという答弁だっ

10月5日

コロナ禍の影響で 住まいを失った方へ、 速やかに市営住宅の提供を 港建築住宅局審査で林議員



質問する林まさひと議員

神戸市は、コロナ禍の影響で住まいを失った市民に対して市営住宅を最大2年

1. 文化芸術活動関係者への支援について
2. 市の文化予算について
3. 新垂水図書館について

質疑項目

井議員は、蔵書数や子どもたちの自習スペース、十分な席数の確保など、これまで利用者みなさんが望んできたような新図書館にするよう求めました。また、平磯へ移転をすすめている4階の体育室とトレーニング室も含めて図書館移転後の跡地の活用についても、利用者の意見をしっかりと聞き、現地での存続ふくめ、みなさんが利用しやすい施設にするよう強く要望しました。

答弁ダイジェスト

岡田中央図書館長：古くて狭いという利用者の声を受けとめ、反省点を踏まえてつくっていく。蔵書数も市民のみな

質疑項目

1. 新型コロナウイルスの影響を踏まえた大規模投資の見直しについて
2. 神戸空港の方向性の再検討について
3. 空港連絡橋4車線化の見直しについて

た。神戸経済を考えると、本当にいいものになるのか疑問だ。三宮再開発と一体ですすめるとのことだがJR西日本は「事業内容を見きわめる」とするなど、関連事業者からも不安の声が出ている。ウォーターフロントにも影響が出ると思わないのか。

辻局長：(民間業者への)市場調査でも早期に事業着手すべきという意見が多くあった。

長谷川副局長：2025年の大阪万博は神戸をアピールできる絶好の機会だ。着実にすすめる。今回の開発は、賑わいや消費需要を創出するものをご理解いただきたい。

1. 第3次マネジメント計画について
2. コロナ禍で住宅を失った市民への対応について
3. 市営住宅の家賃減免について
4. 住宅の耐震診断、リフォームへの支援について

質疑項目

間という期間限定で100件ほど用意しています。これまでに200件ほど相談があり、実際に入居された方はそのうちの26人ということです。林議員は、「北区のある方は北区ではすぐに入居できる部屋がなく、やむをえず西区まで足を運んでやっと入居できた」という事例を紹介、「コロナ禍の中、解雇、雇止め、派遣切り、失業して住まいを失う方や収入が減ってローンが払えずに住まいを失う方は応急的に入居できる場所が必要だ。こ

んの声を聞きながら決めていきたい。跡地の活用計画はまだ白紙だ。

今井議員：図書館移転後の600㎡の部屋を親子のフラット広場や学童保育にして、体育室とトレーニング室をそのまま残してほしいという声を多数聞いている。

岡田局長：体育館と図書館の完成時期にはずれが生じるので、現計画通りすすめる。

今井議員：平磯へ移転をする体育館は、アクセス面を「検討する」としていたが、何も改善策が出されていない。子育て世帯から高齢者まで利用者の声を反映したものにすべきだ。

10月2日

ウォーターフロント コロナ禍でのさらなる 開発は許せない 港湾局審査で西議員



質問する西ただす議員

西議員：インバウンド目的で開発をすすめると外需だのみの危機に弱い神戸経済になってしまう。民間による開発だから神戸市には損はないと言うが、ウォーターフロントをさらに広くしていくには、莫大な費用も人も必要だ。もっとコロナでの対応に使えるはずだ。

これはまだまだ増える可能性もある。今の時期こそ、すぐに対応できるよう用意しておくべき」と質しました。

答弁ダイジェスト

林議員：提供を予定している残り74戸の市営住宅は、すぐ入れる状況になっているのか。

前田副局長：用意している枠全てがすぐに入居できるわけではなく、時間をいただくケースもある。基本的には希望があれば手続きさせていただく。

林議員：100戸用意すると広報しているのだから、こういう所に予算をつけて、すぐ提供できるようスタンバイしておくべきだ。

10月1日

中小業者の実態を把握し、
最大限の支援を早く
企画調整局審査で大かわら議員



質問する大かわら鈴子議員

新型コロナウイルス感染症は、市民、中小業者に大きな影響を与えており、さらに深刻

9月29日、全世界で新型コロナウイルスによる死者数が100万人を超えました。年内には結核を上回り、死者数が感染症において最悪となる可能性も示唆されています。日本では国民や医療従事者、保健所の皆さんの努力で、死亡率は低い水準で収まっていますが、季節性インフルエンザが流行する時期をむかえるいま、市民の不安が増えています。「無症状者からの感染リスクを予防するため

10月5日

命の水、減免制度や
支援策で市民によりそう
水道行政をすすめよ
水道局審査で松本議員



質問する松本のり子議員

コロナ禍で生活が厳しくなった世帯が増えていきます。厚労省は水道料金の減免

決算特別委員会審査から②

1. withコロナ対応戦略について
2. 新たな交通政策の検討について
3. 奨学金返還支援について

質疑項目

な状況になっています。withコロナ対応戦略では、「市民の不安に向き合う」「事業継続、経営回復を最大限支援していく」としています。神戸市は、この立場に立ち支援することが求められています。大かわら議員は、客足が減り、収入が激減している兵庫区の中小業者や、派遣切りで失業し収入を失った市民の実態を示し、経済観光局とともに直接支援など早急に対策をとるように求めました。

答弁ダイジェスト

大畑副局長：我々も市内業者の方が非常に厳しい中、懸命に経営努力されていると認識している。様々な状況踏まえて市民・事業者・行政が一体となりながら共通認識をもって取り組んでいきたい。

大かわら議員：中小業者の方に真水を投入するぐらいが必要だ。実態を調査されているのだからリアルにつかんで、経済観光局と一緒に早くすすめていただきたい。

10月2日

市民の不安によりそい、
積極的に調査と検査をすすめよ
健康局審査で森本議員



質問する森本真議員

花田局長：日本の状況から考えて1500人しか死亡者が出ていないので、今の対応で間違いはない。

森本議員：市民の不安にむきあうべき。高齢者や基礎疾患をお持ちの皆さん、学校、保育所、飲食店などの社会的検査も積極的にやって欲しい。

1. 新型コロナウイルス感染症の特性について
2. 保健所の体制について
3. 地域医療を守るとりくみについて
4. 西市民病院のあり方について

質疑項目

にも、必要なPCR検査をしっかりとすべきだ」と指摘する森本議員に対し、健康局長は「検査を増やしても偽陽性が増えるので、その方を隔離、自宅待機させるのは人権としてどうか」「安全のための検査はする。不安な人は全部（検査を）やれというのは、これはまた違うカテゴリーだ」とともに答えません。

答弁ダイジェスト

森本議員：(感染率と死亡率が低い)シンガポールでは積極的に追跡調査とPCR検査をやっている。神戸市もみならうべきではないか。

1. 水道料金の減免について
2. 給水停止について

質疑項目

制度など柔軟な対応を水道事業者に求める要請を出しました。それを受け、兵庫県では32の自治体が水道料金の減免を実施していますが、神戸市は「独立採算制である上下水道会計の負担で減免をした場合、将来の値上げを早め、他の利用者に負担がいくため不公平である」「一般会計負担が原則なので、一律での水道の

減免はしない」としたため、既存の支払い猶予制度しかありません。松本議員は「厚労省の通知では減免をしても全額、国からの臨時交付金としているので、神戸市の負担はない。なぜ、活用しなかったのか」と質しました。

答弁ダイジェスト

山本局長：臨時交付金は承知している。市全体で考えた結果、充当しなかった。(2面につづく)

た。

松本議員：140億円臨時交付金が市に入ってきたのに、命の水には充当しな

10月6日

インバウンド頼みではなく、市民のための観光事業を 経済観光局審査で味口議員



質問する味口としゆき議員

神戸市は「市内宿泊・観光の推進」として2億5300万円の補正予算を計上しました。味口議員は「コロナ禍で経済政策の転換が求められている。インバウンドでの観光客が見込めないもとの、市としてもっと強化すべきだ」と質しました。さらに、神戸市が推しすすめる須磨海浜水族園・海浜公園再整備事業は『インバ

JR西日本が建て替え計画をすすめる三ノ宮駅ビルについて、神戸市は今年度中に予定していた都市計画決定が1年ずれ込むことを明らかにしました。新型コロナウイルス感染症の影響でJR西日本がすすめる事業計画の再検討に時間がかかるためです。林議員は、「今後個人・法人の市民税や固定資産税など市税収入が減ることも予想される。三宮の一等地でも公示地価の大幅な下落が報道された。この情勢の中でこのまま三宮再整備をすすめていいのか」と追及、一度立ち止まって再検討するよう求めました。

った。阪神間の他都市に聞いたら、福祉の観点で減免をしたと言われた。また、神戸市は一人親世帯に減免を検討していたのに、何故実施しなかったのか。

山本局長：総合的に皆で検討した結果、一人親世帯の減免をやめた。

松本議員：一番困窮している世帯へ予

1. 新型コロナウイルスを踏まえた中小事業者への支援について
 - 予算規模について
 - 神戸市 with コロナ対応戦略について
2. 新型コロナウイルスを踏まえた観光戦略の転換について
 - 国際会議場・展示場再整備の見直しについて
 - 須磨海浜水族園・海浜公園再整備の見直しについて

質疑項目

ウンドを含めた観光集客に貢献する都市型リゾート』を柱とした、民設民営の市民置き去りのコンセプトとなっています。味口議員は、インバウンドに大きく依存する計画自体が、コロナ禍のもとで成り立たなくなっていると指摘し、市民が安心して利用でき、市民に愛される施設になるよう、計画の見直しを求めました。

答弁ダイジェスト

安岡観光MICE担当部長：来館者の大半は国内で、インバウンドは10%程度と

質疑項目

1. 都心三宮再整備計画について
2. 雲井通5丁目再開発事業について
3. 計画的開発団地のリノベーションについて
4. 公共交通政策について
5. 神鉄シーパスイワの本格実施について

答弁ダイジェスト

大石都心再整備部長：魅力ある都市として発展していくには、玄関口としての三宮再整備をすすめていくことは大変重要。コロナでかわるものではない。

林議員：新長田再開発事業も赤字の決

算を出さない。弱い人たちに寄りそう姿勢がかけている。

その他の質問

- 水道事業を公共の立場ですすめよ
- 水の科学博物館について

山本じゅんじ議員

想定している。メインターゲットをインバウンドとした事業ではない。

味口議員：10%どころか、コンセプトの柱として位置づけられているではないか。コロナの影響を見定め、市もこのまま計画をすすめるのは危険だということを事業者に提言する必要がある。

安岡観光MICE担当部長：再整備終了は2024年予定だ。コロナの状況も変わっているかもしれない。事業者もコロナの状況をわかったうえで、計画の変更はないと言っている。

味口議員：コロナの影響を受けた後の施策として、もっと真剣に検討すべきだ。値段設定も今までのように、おじいちゃんやおばあちゃんから孫の世代まで、市民が安心してくり返し訪れることができるように、計画を再検討すべきだ。

10月6日

三宮再整備は一度立ち止まって再検討を 都市局審査で林議員



質問する林まさひと議員

算書が出された。慎重になるべきだ。

ぜひご視聴ください

山本じゅんじ議員が一般質問

日時 10月28日(水) 13時50分頃から 場所 市議会本会議場

時間が前後する可能性がありますので、余裕をもってご覧ください

本会議および委員会のインターネット中継をおこなっていますので、ぜひご利用ください

新型コロナウイルスの屋内感染防止のため、本会議および委員会の傍聴をご希望される方は、手洗い・アルコール消毒・マスクの着用、ならびに座席の間隔を空け、身体的距離を確保してお座りいただくようご協力をお願いいたします。

お詫びと訂正

市議会だよりNo.272について一部誤りがございましたので、ここに訂正し、お詫び申し上げます。
裏面・林議員の吹き出し部分 誤「港建築住宅局」→ 正「建築住宅局」

10月7日

コロナ禍のエアコン問題
教育長「調査する」と答弁
教育委員会審査で味口議員



質問する味口としゆき議員

10月初旬に小学校と中学校で感染者が確認されましたが、クラスターの発生を抑えこむことができました。これは国の基準以上に健康観察対象者までPCR検査を広げた成果です。味口議員は、保護者や児童の不安に応え、PCR検査をクラス

最近、放課後デイサービス事業所など障がい者施設での虐待や、特別養護老人ホームで利用者への虐待や不適切なケアがおこなわれていたことが明るみにでました。松本議員は「利用者の人権を無視した施設をこれ以上出さないために施設が独自に職員研修をおこなうことはもちろんですが、問題をみつけられなかった市の監査の在り方や改善するところなども含め、検討すべき」と質問。神戸市は「厚生労働省の通知の6年に1度より頻度を増やし3年に1度行っている」「効果的な監査の在り方を検討する」と述べるのみで、積極的な対応は示しませんでした。松本議員は「自己評価結果のチェ

10月8日

市バス路線を縮小する
計画はやめよ
交通局審査で朝倉議員



質問する朝倉えつ子議員

決算特別委員会審査から③

1. 新型コロナウイルス感染症発生時における学校園での対応について
2. 少人数学級の実現について
3. 学校園における空調整備について
4. 中学校給食の改善について

質疑項目

だけでなく、学年・学校全体に広げること提起すると、教育委員会側も保護者や生徒の不安が大きいことを認め「健康局に強く要望する」と答弁。また、学校での「3密」回避の点で、換気をしながらのエアコンの問題は、大きな課題となっています。味口議員は、冬場の空調の整備、特に中学校体育館の部分空調について、現場の声をもとに改善を要求しました。

答弁ダイジェスト

長田教育長：(整備していく)決意はしている。予算は市長の判断になるが、私

1. 高齢者、障がい者施設などの監査について
2. 引きこもり対策について
3. 敬老福祉優待制度の改悪について

質疑項目

ック項目はハイとかイエエしかない。ロールプレイをしてもらおうとか、コミュニケーションのとり方などの項目を入れ、施設の状況を把握すべき」と質しました。

答弁ダイジェスト

赤坂監査指導部長：項目的に個別のケアまで入れるのは難しい。年に1回以上、集団指導や研修をおこなっている。

松本議員：研修をしても虐待をしている施設もある。その点をどう考えるか、もっとさらに分かる項目を入れるべき。また、(事業所に)外部の目、地域の目を入れるような検討はしていないのか。

1. 市営交通次期経営計画の策定について
2. 市バス営業所の委託拡大はやめよ
3. 市バス運転士の人材確保と育成支援を
4. 市バス乗継割引を民間バスにも適用を

質疑項目

神戸市は今後5年間の経営方針及び具体的な戦略である「神戸市営交通次期経営計画」を来年度策定します。現在開催されている交通事業審議会や有識者会議では、「民間活力やコスト削減などあらゆる努力をする」との方向性が示されて

どもの立場をしっかりと主張していく。

味口議員：いくつかの学校から「全く役に立たない」という声があがっている。部分空調では、部活動でも避難所のあり方としても実態に合ったものではない。一度立ち止まって精査していただきたい。

長田教育長：そういう声があることを初めて聞いた。現場の話を聞いて調査する必要がある。

味口議員：withコロナの時に、部分空調で換気に耐え得るものなのかをよく考えて検討すべきだ。

10月7日

虐待の連鎖を公の役割でとめよ
「人権を守るため、神戸市として
知恵と力を出し切って」
福祉局審査で松本議員



質問する松本のり子議員

赤坂監査指導部長：現状、一番身近な従業者の速やかな通報が最も大切かなと思う。今後、どういうことが出来るかは考えていきたいと思う。

松本議員：個人に任せるのは違う。監査がある以上、神戸市が公の役割としてしっかり対応すべき。その為には監査の正規職員の雇用ふやすべきだ。

います。新型コロナウイルスの感染が市民の暮らしや生業に深刻な影響を与えている今、公共交通の役割は大変重要になっています。朝倉議員は、市バスの減便や路線の短絡で不便になり困っているという利用者の声を紹介、「不便になればますます乗らなくなり悪循環だ。既存の市バス路線を縮小するような計画はやめるべき」と質しました。

(2面につづく)

また、データ予測だけでニーズをつかむのではなく、どんな路線なら乗ってもらえるのか、住民への説明会や意見交換の場をつくり丁寧に住民の声を聞いて進めるよう求めました。

答弁ダイジェスト

岸田局長：近年の人口減少、少子高齢

豪雨災害などが神戸をはじめ各地で多発しており、気候変動がもたらす影響は、年々深刻さを増しています。地球温暖化防止対策は待たなしの課題であり、今や世界的な要請です。2050年に温室効果ガス実質ゼロを掲げる自治体は9月現在で22都道府県、6政令市など全部で156自治体に。山本議員は世界からの要請にこたえるために「神戸市の温室効果ガスの削減目標を大幅に引き上げるべきではないか」と質しました。

答弁ダイジェスト

福本局長：神戸はクールチョイス（温暖化対策）推進宣言をうちだしている。

10月9日

現場の声聞き保育士の 処遇改善と人員配置を こども家庭局審査で今井議員



質問する今井まさこ議員

目の前のコロナ危機を打開し、より良い未来を切り開くためにも、保育を担う働き手の処遇改善が求められています。国の保育単価が低いことが問題ですが、

最近の新型コロナウイルス感染症、また気候変動の影響もある新しい時代において、消防力の充実・強化はいままで以上に重要な課題です。神戸市消防局では基本計画「神戸消防グランドデザイン2025」で将来像を定め日頃活動を行っています。森本議員は、常日頃から国の整備指針の100%達成を目指してほしいと求めています。指針によると、令和2年、職員数、団員数、消防署所、ポンプ車、救急車について充足率が達成しておらず、森本議員は「来年が5年間のアクションプラン作成の最終年になる消防

化、バス運転手不足等々、地域交通の社会環境は厳しさを増している。地域交通の維持・充実をはかるためには多様な移動手段を適切に組み合わせることが必要である。採算性、効率性を全く考慮しないというのは事業としての持続可能な観点から難しい。

朝倉議員：乗客数が少ない路線はバス

質疑項目

1. マイクロプラスチック対策としてのプラごみ削減について
2. 地球温暖化防止対策について
3. メガソーラーにたいする規制強化を

趣旨としては他都市での宣言と内容的には同じと思っている。わかりやすいメニューを着実に取り組んでいく。

山本議員：できることからは大事だが、2050年に向けた市の事業における再生可能エネルギーの導入計画も策定して推進し、市の積極的役割をはたすべきだ。温室効果ガス排出量の半分近くが産業部門。ここに対する取り組みが必要では。

福本局長：事業者の創意工夫をヒアリングするなど、新たな事例を他の事業者を紹介するなど推進していきたい。

1. 保育所における新型コロナウイルス対策について
2. 母子家庭の福祉パスについて
3. こども医療費助成の拡大について
4. 待機児童対策、認可保育所の整備について

質疑項目

国への働きかけと同時に、市としての姿勢が問われています。また、コロナ感染予防のため、施設の清掃や消毒などの作業に時間が割かれ、保育士の大きな負担となっています。今井議員は、安定して保育士の確保ができるよう、他業種との賃金格差の改善と新たな人員の配置を求めました。

答弁ダイジェスト

高田副局長：現場の保育士さんには大変ご苦労いただいていると認識をしてい

質疑項目

1. 消防力の整備方針について
2. コロナウイルス対策について
3. 災害対応について

は、人が大きな力を発揮する。余裕を持ってないと駄目だ」と体制の充実をもとめました。

答弁ダイジェスト

長岡消防局長：消防職員は着実に増えている。地域防災力の要である消防団、そして防災福祉コミュニティ、事業者などの地域

を小型に変えるだけでなく、民間や地域主体で運行させるようなやり方は行政の責任を転嫁するものだ。市として繰り入れをさらに増やして公共交通を維持すべき。

10月8日

気候変動対策、神戸市として 積極的な姿勢をしめせ 環境局審査で山本議員



質問する山本じゅんじ議員

山本議員：事業者に参加してもらい納得して取り組めるよう、議論にまき込んでいくことが重要だ。また、環境保全協定を改定し、温室効果ガスの削減目標を引き上げるよう求めよ。

る。市独自の処遇改善や一時金の給付等の施策を実施してきたが、本来国の責任でおこなわれるべきものなので、引き続き国に要望をしていく。

今井議員：厚生労働省の調査を見ると保育士の離職は全国で約10%にもなっている。59%もの保育士が賃金の改善を求めている。これからも安定的に、またベテランの職員を確保していくためには、引き続き処遇改善に努めていただきたい。

10月9日

安全で安心な神戸の まちを支える消防体制の より一層の充実を!!

危機管理室・消防局審査で森本議員



質問する森本真議員

防災力の充実・強化も図った上で人員の整備を併せて進めていきたい。

森本議員：(指針の達成率) 100%を超えるように努力していただきたい。

今こそ市の決断で、コロナ禍の学校環境整備を！



エアコンのない美術室にはスポットクーラー

夏も冬も換気しながら室温を保つのは大変！



体育館に設置されたエアコン

子どもたちへの手厚い教育と、感染防止対策として少人数学級の実現は急務です。

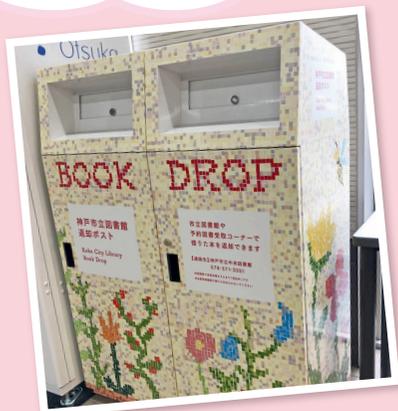
少人数学級の実現には、先生を増員し学校整備の予算を増やすことが必要不可欠です。

教員や職員、保護者や子どもたちの声をお聞きしながら学校環境整備と少人数学級の早期実現へ頑張ります。

地域のご要望・お困りごとあれこれ

神鉄鈴蘭台駅に図書館返却ポストできました

北区役所が鈴蘭台駅へ移転する際も、「図書館が駅ビルにあれば助かる」など要望がありました。みなさんのご要望がまた一つ実りました。図書返却ポストは駅改札が開いている時間帯であれば利用できます。



ひよどり台南町の草刈り管理を

「草が伸び放題…」とご相談を受け市に依頼し、改善されました。



青空生活相談会を開催しました

市政へのご要望や身近なお困りごとなど、お気軽にお声かけください。

- 日本共産党神戸市議団 神戸市議会内 ☎078-322-5847
- 党北区事務所 ☎078-591-4755

地域の活動などをfacebookやTwitterで報告しています。



青空相談会で相談を受ける朝倉議員

朝倉 えつ子

神戸市会議員

発行：日本共産党神戸市会議員団 〒650-0001 神戸市中央区加納町6-5-1
党市議団 HP: <http://www.jcp-kobe.com/>



決算議会意見表明する朝倉えつ子議員

コロナ禍の市民の暮らしや生業に寄り添う神戸市に

「第3波到来」と言われる新型コロナウイルスの感染拡大は、市内中小業者や飲食店へ深刻な影響を与えています。中小業者からは「元のようにお客さんは戻らない」「震災の時よりもキツイ」という悲痛な声を聞いています。

朝倉えつ子議員は日本共産党市会議員団を代表して、コロナ禍で苦しむ地元中小企業の直接支援の継続を、市長決断で早急に行うよう決算議会意見表明で求めました。

久元市長は「飲食店が非常に厳しい状況におかれているのは事実。しかし、目の前のコロナのことだけで三宮再開発をはじめ、ウォーターフロント再開発や湾岸線延伸な

ど、神戸の発展を阻害されることがあってはならない。再整備事業は予定通り着実にすすめていくことが必要」などと答弁。

「三宮再整備の要」と言われるJRの新ビル計画は、都市計画決定が1年延期され、JR西日本は「再整備計画をいったん白紙にし、内容を見直す」としています。コロナ禍において、大規模な商業施設や駅ビルは、これまでのように収益を上げるのは困難です。

市として不要不急の大型開発は一旦中止し、今苦しんでいる市民を救うために、中小企業支援や公共料金の負担軽減など、予算組み替えが必要ではないでしょうか。

温かくておいしい中学校給食実現へ一歩！

現在の中学校給食は、民間業者が10度以下で温度管理をして各学校へ運ぶため、「冷たい」「おいしくない」と不評です。

「温かくておいしい“中学給食”の提供に向けた親子調理方式のモデル実施」が始まり、北区では、大原中学校で12月から1月にかけて3回実施されます。「公道を挟み隣接

する」桂木小学校の給食室で調理された小学校と同じメニューのものを、中学生向けに分量を調整し、温かいまま運びます。

親子調理方式は、温かくておいしい中学校給食への一歩！です。皆さんと一緒に署名に取り組み、議会で取り上げきた成果です！



※教室で食器に取り分け、給食を提供します。生徒全員が喫食します。

敬老無料乗車券の廃止

敬老パスの近郊区上限110円廃止

母子世帯の福祉パスの廃止

撤回を求める声をあげましょう！

神戸市はこの10月から、母子世帯の「福祉乗車証」、低所得の高齢者の「無料乗車券」を廃止しました。コロナ禍で苦しんでいるシングルマザーや高齢者を追い詰めています。

多くの自治体では低所得世帯への支援を

強めているのに、久元市政は逆行しています。

日本共産党神戸市会議員団は「パスがなくなれば、生活が苦しくなる」「悔しい」という多くの怒りや悲しみの声が届いていないのかと、改悪の撤回を求めています。



山田町メガソーラー建設

住民の懸念を受け止め、市として中止を求めよ！

北区山田町太陽光発電事業は、108.2ヘクタールの区域に、総出力40メガワットの市内最大の太陽光発電施設を建設する計画です。すでに地元説明会は終わり、兵庫県の開発許可の完了しているとしていますが、地元住民の多くは説明会の内容も十分に知らされていません。隣接する民地にてできる変電所についても反対の声が上がっています。

10月22日福祉環境委員会では、「山田町太陽光発電事業の中止を求める陳情」が出され、「里山の破壊。想定外の防災対策への懸念と被害補償。送電線や変電所による電磁波が健康に及ぼす影響への心配など、神戸市はさらに丁寧な住民説明を行うよう、事業者に



予算特別委員会環境局審査で山田町太陽光発電について質疑する朝倉議員

対し指導すべき」と陳述がされました。

日本共産党神戸市会議員団は、陳情に賛成の立場で採択を求めましたが、結果は以下の通り、審議打ち切りとなりました。

○採択 ×審議打ち切り

審査結果：
審議打ち切り

日本共産党	自由民主党	公明党	日本維新の会	立憲民主党	つなぐ
○	×	×	×	×	○

市バス路線を縮小する計画はやめよ

現在交通事業審議会や有識者会議などで、「民間活力やコスト削減などあらゆる努力を」との方向性が示され、神戸市は「神戸市営交通次期経営計画」を来年度策定します。また、「データに基づく市バス配置基準」を決めようとしています。

朝倉議員は、市バスの減便や路線の短絡で不便になり困っている利用者の声を紹介し、「不便になればますます乗らなくなる悪循環だ。既存の市バス路線を縮小するような計画はやめるべき」と質しました。

データ予測だけでニーズをつかむのではなく、どんな路線なら乗ってもらえるのか、住民説明会や意見交換の場をつくり丁寧に住民の声を聞くよう求めました。岸田交通局

長は、「地域交通は厳しさを増している。地域交通の維持・充実には多様な移動手段を適切に組み合わせることが必要」などと答えました。

朝倉議員は、乗客数が少ない路線はバスを小型に変えるだけでなく、民間や地域主体で運行させるようなやり方は行政の責任を転嫁するものと指摘し、市として公共交通を維持するために力を尽くすべきと求めました。



決算議会交通局で質疑する朝倉議員

コストと人員削減ありきの「行財政改革」はやめ、市民の不安に応える検査・体制の拡大を！

神戸市が打ち出した「行財政改革方針2025(案)」では、来年度から今後5年間で750人の職員を削減し、292億円もの事務事業を削減し、市民の福祉やサービスを切り捨てようとしています。コロナ禍で市民からの相談が集中した区役所への来庁者を4割削減するなど、コロナ禍の経験を全く踏まえていません。

新型コロナウイルス感染症を通して、医療や公衆衛生をはじめ、あらゆる分野で、行政の脆弱性が明らかになり、人員削減などしている場合にはありません。市民に必要な事業の廃止や縮小など、人員削減ありきの行財政改革はやめるべきです。

11月13日、北区社会保障推進協議会から、「PCR検査の拡充」「北区に保健所を復活し、保健師等の増員・体制強化」などを求める要望書が、北区区役所へ提出されました。申し入れには朝倉議員が同行しました。



北区役所への申し入れに同行する朝倉議員

鈴蘭台幹線沿線の皆さんへ

わたしのうちは
どうなるの??

- 宅地予定地 (1)
- 宅地予定地 (2)
- 宅地予定地 (3)
- 公園
- 事業区域

16m

20m

※神戸市の資料(宅地予定図)をもとに作成しました。
詳細など変更の可能性はあります。

ご存じですか?!

「鈴蘭台駅北地区まちづくり構想」が決まれば、皆さんの土地が減らされ、家の建て替えや移転が余儀なくされる方も出ます。

そうなる前に、みんなで、神戸市に声をあげましょう!!

市民意見の送付先

都市計画案の(鈴蘭台駅北地区土地区画整理事業案、公園)の縦覧(閲覧)ができます。

縦覧(閲覧)の期間:12月8(火)~12月22日(火)

縦覧の方法:下記郵送先において原本の閲覧ができます。

市のHPでもご覧になれます。(神戸市都市計画案縦覧から検索)

- 郵送 12月22日(火)消印有効
〒651-0083 神戸市中央区浜辺通2-1-30 三宮国際ビル6階 都市局都市計画課
件名「鈴蘭台駅北地区 都市計画案についての意見」係宛
- FAX 078-595-6802
- メール tokei_keikaku_iken@office.city.kobe.lg.jp
※意見提出は件名、お名前、ご住所をお書き下さい。



11月8日、10日に鈴蘭台駅北地区まちづくり構想と都市計画案の説明会が開催されました。

神戸市は、この地域全体を区画整理事業として進めようとしており、この地域にお住いの約250世帯の皆さんに影響が及ぶと説明しました。(地図参照)

12月には、都市計画案(鈴蘭台駅北地区土地区画整理事業案)の縦覧(閲覧できること)があり、意見書も出すことができます。ぜひ、たくさんの意見を出しましょう!

神戸市は、2021年2月の都市計画審議会でもまちづくり構想案を決定し、3月には都市計画決定を行う予定です。決定されてしまえば、土地の減歩(土地が減らされること)などが有無を言わず進められることとなります。

住民の声

外壁改修をしたばかり…きちんと補償されるの?

移転しなければならぬ住宅は、いったい何世帯になるの?

私は移転しないとイケないの?

市の説明がコロコロ変わる

高齢化する地域でこの事業を強行することに疑問。住みにくくなる。

区画整理事業が着手されても移転先や補償はずっと(数年)先までかかる、どうなるかわからない。

コロナ禍なのに事業すすめるの?

住民が要望しても聞いてくれず、兵商跡地も区役所跡地も放ったらかしのままだったのに。市はまちづくりをどう考えてるのか。



市議会には、鈴蘭台駅北地区の土地区画整理事業について「事業の中身を地権者などに丁寧に説明すること、地域住民の合意の上で計画案をつくること」などを求める請願が出され、朝倉えつ子議員は請願に賛成し、住民の皆さんに対してもっと丁寧な説明や周知が必要であり、より多くの方の議論の中で進めていくべきと求めました。

日本共産党

神戸市会報告

2020年 冬号 北区・鈴蘭台版

発行:日本共産党神戸市会議員団

神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会内

☎078-322-5847

©党北区事務所 ☎078-591-4755

WEBサイト <http://www.jcp-kobe.com/>

神戸市会議員
朝倉えつ子

市政へのご要望や身近なお困りごとなど、お気軽にお声かけください。

地域の活動などをfacebookやTwitterで報告しています。



本会議で請願討論する朝倉議員